

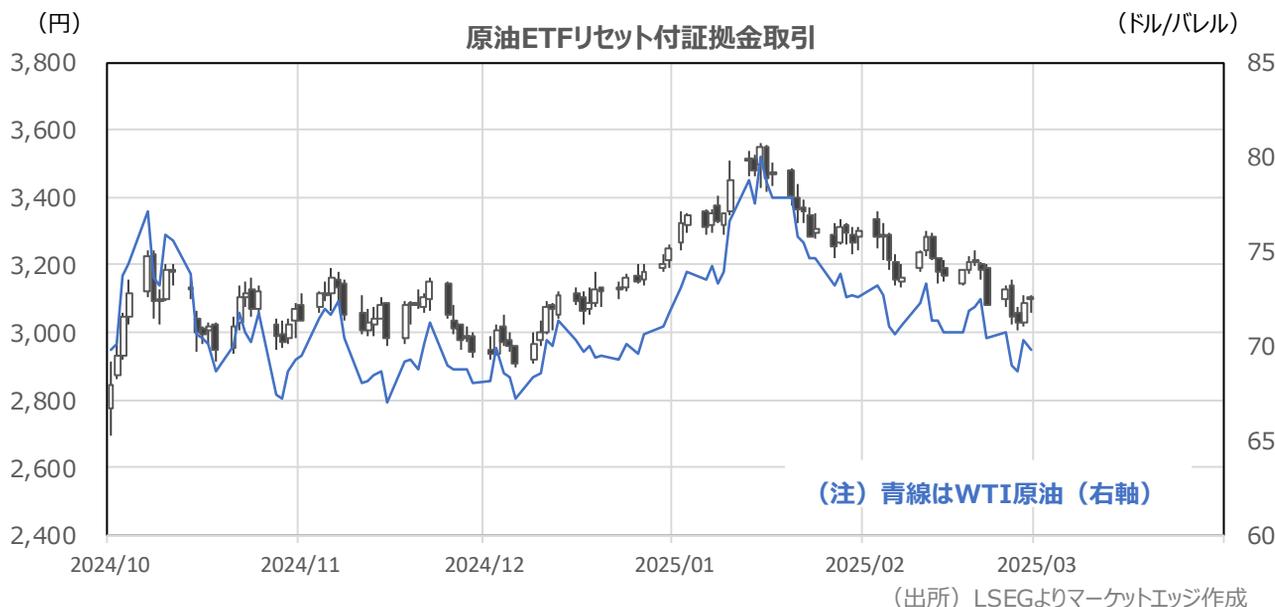
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/03/03号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



米通商問題警戒で2か月半ぶりの安値

NY原油先物相場は、1バレル=68.36ドルまで値下がりし、昨年12月10日以来の安値を更新した。需要不安の織り込みが優勢の地合いが続き、下値模索の展開になっている。米通商政策に対する警戒感が高まり、70ドルの節目割れの時間が徐々に増えている。通商リスクが実体経済のリスクとして警戒され始めている。トランプ米大統領がシェブロン社のベネズエラ石油事業のライセンス取り消しを発表したこと、石油輸出国機構（OPEC）プラスが4月から予定されている減産縮小（＝増産）を先送りするとの観測が広がったことが下値を支えたが、戻り売り優勢の展開が維持された。

米通商政策については不透明感が強いが、実体経済に対するネガティブな影響が警戒され始めている。消費者マインドの急激な悪化などを受けて、米国や世界経済の停滞は避けられないとみられている。世界の株式相場が大きく値下がりする一方、非鉄金属などの産業用素材市況も弱含んでおり、その流れの中で原油相場も上値の重い展開が維持された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月21日時点）は、原油が前週比233万バレル減、ガソリンが37万バレル増、石油精製品が391万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

通商問題で70ドル割れ定着が進む、関税発動の有無に注目

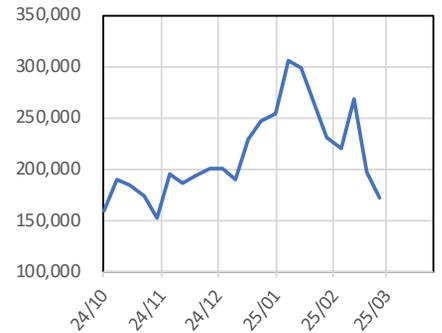
今週も戻り売り優勢の展開が続く見通し。米通商問題が需要リスクを高めており、70ドル割れ定着を打診しよう。前週の安値68.36ドルを下抜くと、67ドル水準まで一段安になる可能性がある。特に株価急落といったリスクオフ圧力がみられると、原油相場の地合も悪化しやすくなる。

トランプ米政権は、3月4日にカナダとメキシコからの輸入品に対して25%の関税を課す予定になっている。また、同日は中国からの輸入品に対する関税を、2月の10%からさらに10%上乘せする予定になっている。各国の通商環境が急激に悪化すると、需要不安が原油相場の上値を圧迫する展開が続きやすい。特に中国政府が大規模な報復措置を講じると、値下がりリスクが高まる。逆に関税発動が見送られるようなサプライズがあると、安値修正の動きが強まり70~72ドル水準まで切り返す可能性がある。

一方、カナダとメキシコはともに米国の原油調達先になっている。特にカナダは最大の輸入先であり、トランプ政権はエネルギー輸入については関税を10%に抑制する方針を示している。ただし、カナダ産原油の供給に混乱が生じるリスクが警戒されると、安値修正が促される可能性はある。

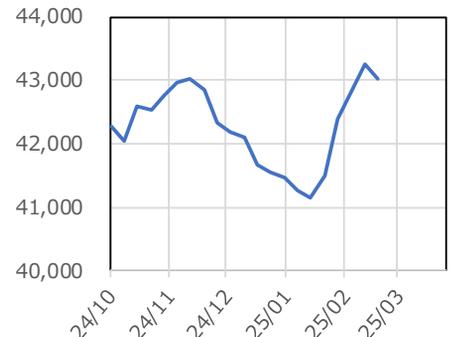
また、70ドル割れ定着が進むと、石油輸出国機構（OPEC）プラスが4月から予定している減産縮小の見送りが決定的になる。産油国が原油安をけん制する動きを強化すると、上値が重いながらも60ドル台後半で下げ渋る展開に移行しよう。昨年10月以降は67ドル水準が安値限界になっており、同水準を大きく下抜くには、石油需要見通しの急速な悪化が求められる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



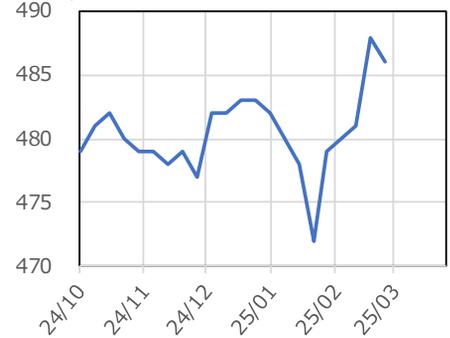
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

